





農業用水対策工事が開始

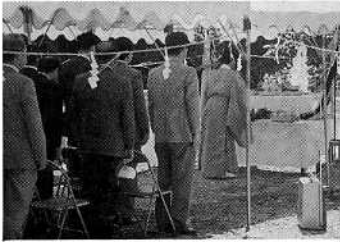
# 工されました

平成四年…今年、村の生活史において記念すべき一ページを刻む年となりました。  
昭和六十二年から六年間を費やして、計画・調査を行ってきた東白川簡易水道事業が着工となったのです。  
今回工事が始まったのは、村の約六割の水道水を賄う大明神川を水源とする簡易水道。  
今月は、その事業内容と、おおまかな今後の予定を見ていきたいと思えます。

## 工事の安全を願ひ、 厳かに起工式

「雨降って地固まる」ということわざがありますが、記念すべき簡易水道事業のスタートともいうべき、八月十八日の水道事業起工式前夜は雨…。

起工式の場所が、水源に近いの河岸だけに、ぬかるみの中の起工式かと心配されていますが、当日は、この大きな事業の前途を祝福するかのような暑い夏の日差しが容赦なく照りつける好天となりました。  
起工式には、村関係者、工事関係者や水道委員さんなど約五



工事の安全を願ひ

十人が参列、工事中の無事を願ひ、古式にのっとって厳かに起工式が、執り行われました。

## じつじて届けられる 安全で清潔な水

今回、工事を着手した「東白川簡易水道事業」は、大明神川を水源として、村の約六割の世帯（大明神・黒淵・栃山・陰地・日向・曲坂橋より上流を除く曲坂・中通下・上親田・下親田・反の渡より下を除く平地区）の給水を目的に行われます。

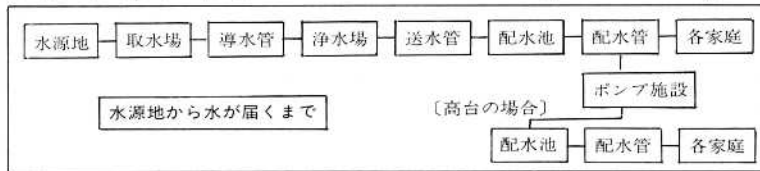
大明神の水源地から最も離れているのは平地区で、この間約十二キロ。これだけの道のり

を管を通して水を送り、しかもその間には、水をより清潔にする施設や地域によっては、高台に家があるような所もあるわけですから、そこまで水を送る施設などを含めて考えてみるとこの事業がいかに時間やお金のかかる大変なものかが理解いただけるかと思えます。

この簡易水道事業着工までには、広報紙面でも今までに、いろいろな角度からお伝えしてきましたが、今回は、そのおさらいの意味も含めて、

水源地から各家庭までの水が届けられるかを見てみましょう。

下の図をご覧下さい。これは、水道水がどんな経路で届くか図示したものです。まず、取水場というの



## 簡水、今後の予定

今年度着工となった簡易水道事業、今年度の工事内容については、上段でみたとおりですが、「私たちのところはいつごろ工事されるのだろうか?」と思ってみえる方が多いと思えます。そこで、あくまでも予定ではありますが、五年度以降の水道工事がいかに進むかを少し触れてみたいと思えます。

《平成五年度》  
浄水場の工事が主として行われます。

また、配水管及び送水管の埋設工事が、大明神地区の一部、黒淵地区の一部で行われ、同じ地区に配水池を兼ねる浄水場のほかに小峠配水池・大明神低区配水池・黒淵配水池の三か所に配水池が設けられます。

《平成六年度》  
栃山地区農道側・日向平地区・陰地地区全域・中通下地区全域・大明神地区残部・黒淵地区残部で送水管及び配水管の埋設工事さらに、穴沢配水池（黒淵）・栃山配水池・陰地配水池・中通配水池の四か所が設けられます。

# ひとこと

奥さまがたに聞く

## 今までは不安だった



今井敬子さん(陰地)

今、使っている水は山や畑への消毒が混じるので不安があったので1日も早く水道が来ると待っています。

## 何はなくとも水がなければ



熊澤梅子さん(日向)

共同の簡易給水を使っています。不足はしていませんが、長雨でにごることも…清潔で安全な水は楽しみです。

## 安全でおいしい水に期待!



桂川春子さん(黒瀨)

水は、不足していませんが、共同の井戸なので節水を心掛けています。水道水にはおいしい水を期待します。

# 簡易水道が着

とく、水を取る場ですから、水源のことを指すわけですが、水をきれいにする浄水場までの間に、この取水施設で最初の浄化が行われます。取水場ではせきを作り、集水埋管といって大きなゴミなどを取り除く管を設置し、さらに泥や砂をろ過するための沈砂池を設けて、二重三重に水を浄化します。

そのろ過によってきれいになった水は浄水場で、さらに安全な水に浄化され、送水管を通じて配水池へと進みます。みなさんの家庭へは、この配水池から水が届けられるわけです。大明神川水源の場合は、配水池が十一か所に設けられ、浄水場から配水池までを結ぶ送水管の延長が約四・二キロ、配水池

から各家庭を結ぶ配水管の延長が約六十・五キロ及びます。このようにして水源地を離れた水は、何回も浄化され、清潔で安全な水道水として家庭に届けられるのです。

## 気になる

### 今年度の予定は

各家庭までの水道水の「旅」を簡単に見てきましたが、平成四年度は、どのあたりまで工事が進むのが、特に対象となる集落のみなさんにとって気になるところでないでしょうか。

今年度は、事業費として一億八千三百万円が充てられ、来年三月までを工期に、水道の一番の大本である、水源地(取水工

事)が中心となります。せき・集水埋管・沈砂池などの取水施設の工事が、十月からの予定でスタートすることになっていきます。また、取水工事と並行して大明神地区において導水管・送水管の埋設工事が、さらに大明神地区一部・黒瀨地区の一部・陰地の県道改良分の地区では、配水管の埋設工事も行われます。

現在、水源地上、堰堤の付近では、農業用水対策工事が始まっています。これは、水道事業とは、直接関係するものではありませんが、異常渇水期対策として地元のみなさんにご迷惑をかけないように、農業用水確保のため行うものです。このように多方面に気を配りながら水道事業は、進められていくのです。

〔平成七年度〕  
栃山地区県道側・日向大林地区・前山地区を除く平地区全域で送水管・配水管の埋設工事。及び日向配水池が設置されます。

〔平成八年度〕  
平前山地区・上親田長瀬地区・下親田地区の一部で送水管・配水管の埋設工事。及び前山配水池(平)が設置されます。

〔平成九年度〕  
上親田地区、下親田地区の残留で送水管・配水管の埋設工事が上親田配水池が作られます。

以上が、平成九年度までの水道工事計画です。なお、平成八年度からは曲坂川を水源地とし、村の残りの地区の給水を行う第二簡易水道事業も平成十三年度完成を目標に着工されます。

## 簡易水道への加入希望者数

(平成4年6月調査・大明神水源)

大明神	60戸	87.0%
黒瀨	36	85.7
栃山	18	90.0
陰地	79	95.2
日向	63	92.6
曲坂(一部)	6	100.0
平田(一部)	121	98.4
上親田	40	95.2
下親田	30	93.8
中通(一部)	11	100.0
計	464	93.5

# 五介

# ふるさとの夏を満喫



今年は豪華、馬二頭



五介道中、いざ出陣



平をかき旋、五介軍団

村の夏の最大のイベントといったら、そう「ふるさと夏まつり・ザ・五介」。すっかり定着した感があります。

今年、青年団体連絡協議会を中心に参加したスタッフが約百五十人。夏まつり来場者約三千人。若者たちが試行錯誤の末、各担当の分業制を重視して臨んだ夏まつりとなりました。

## 前日は、大雨

## けれど出足は好調

「メイン会場を神土運動場から中学校体育館へ、鮎かけ大会は、順延」この決定を夏まつりの実行委員会と各部門のリーダーが緊急会議で下したのが前日の午後一時。十三日は、朝八時すぎに大雨、洪水警報が発せられ、夕方六時までの雨量が三十六。夏まつりではここ数年で最悪の天候。「翌日、もし雨だったら…」夕方から準備に集まったスタッフの間からは、重苦しい雰囲気漂いました。

明けて当日十四日、例年どおりラジオ体操からのスタート。

なった「お馬さんに乗ろう」のコーナーもサラブレッドが二頭に増えたこともあり長蛇の列ができるほどの大人気。前日の心配をよそにすべり出しから絶好のスタートとなりました。

## 謎の宣教師も

## 参加した五介道中

毎年この夏まつりの目玉ともいふべき「五介道中」。中でも五介と又右衛門に仮装し、この祭の主役を演じる二人は、注目の的といっても良いでしょう。

今年五代目として五介にふん

装したのは、下親田の有田尚樹さん、また又右衛門役

は曲坂の村雲昭仁さんのお二人。

午前八時に出席式を終え、五介の砦（体育館）から手下を従え出席する姿は、まさに威

風堂々とした五介軍団

今年、この軍団に強力な助っ人が加入し

「ふるさとは、  
近きにありて  
ふれあうもの」

## 里帰り交流会

「ふるさとは、遠きにおいて思ふもの」と詩人室生犀星は、歌いましたが、今は、ふるさととは近きにありてふれあうものです」と、話して下さったのは、この四月発足したばかりの東白川中京村人会会長の今井利也さん（宮代出身、犬山市）。

八月十三日、東京東白川クラブと東白川中京村人会の「里帰り交流会」が、ふるさとセンターで開かれました。

毎年、東京の東白川クラブのみなさんが、お盆の里帰りを機会に行っていた親睦会に今年から新しくできた中京村人会のみなさんが加わって、昨年以上の盛り上がりを見せた交流会。参加者は両村人会を代表した二十一名の方が出席をされました。

当日は、あいにくの天候となつてしまいましたが、この交流会の目玉である村内めぐりは、予定どおり行われ、新



クイズ王決定戦



同級生バザー商売盛況



熱唱ノ大坪金吾さん



息もどつたり、中学生のどんねるす

ました。一人(?)は使用済乾電池を食べてキャンディに換えるロボット(?)の「電池の乾太郎」このロボットは夏まつりのテーマの一つ「グリーン作戦」の一環として考案されたもの。村内十八か所を巡って集めた使用済乾電池はなんと三百器にもなりました。強力な助っ人のもう一人は、キリスト教の伝道にはるばる伴天連の国から渡来した謎の宣教師。実は、仮装したAET(英語指導助手)のアンドリユーさん。本人は上手に化けたつもりでしたが、子どもたちはお見通し。行く先々で「アンドリユーさんだ」と抱きつかれる仕末。また、越原地域集会場では、田口安幸さん(日向)が軍団に負けじと仮装して出迎えるなど五介道中は、例年に負けず劣らず大盛況でした。

のど自慢で

今年もファイナル

五介軍団が帰還した四時からメイン会場体育館は、夜の部が



鮎がけ大会入賞者のみなさん

ヒガシシラカワズカップ'92は23日実施

8月23日、順延された鮎かけ大会が開かれ、村内外から40人が参加、腕を競い勝ち抜いた10人と昨年までのシード選手を含めた大決戦。優勝は、男子・大坪久さん(黒川)、女子・安江英子さん(平)

中には、お孫さんやお子さんから花束を贈られた出場者もあるなど雰囲気は最高潮に達しました。審査員の先生も、「この村の歌のレベルは高い」とおっしゃるように審査はかなり難航したようだが、

開幕。子どもたちの実力が伯仲した「クイズ王決定戦」や、小学生の検茶太鼓、中学生のラスバンドなどが続いた後、八時からは、最大の呼び物「ふるさとふれあい」のど自慢が行われました。出場は、二十一組でしたが、どの出場者も日ごろのどを鍛えているのど自慢、芸達者ばかり、

アンドリユーさんの見た夏まつり

「宣教師は、なじみやすい仮装だったので気に入りました」



どこへ行っても人気者ノ

「と語ってくれたAETのアンドリユーさん。アメリカではこうしたパレードはないのですが、今回初めて参加して「学校以外の場でふれあいができて良かったし、乾電池やチャリティの品物集めは、とても有意義なこと。こうしたアイデアを持つ東白川の青年はすばらしい」とどうやら思い出の夏となったようです。

すが、「夢かざり」を歌った今井英史さん(大沢)がグランプリを獲得しました。マンネリ化が叫ばれる中で、各担当の分業制を重視し、臨んだ五年目の今回は、一つの転機となりました。今年の成功を踏まえ、「もつと多くの村民に参加してもらえような形態に」それが若者たちの一番の願いなのです。

しくできた施設を中心に、せせらぎ荘、味の館を見学した後、大明神を通り、親田を経由して神付、百年道路を経て、総合グラウンドを車窓より見学。新しくできた道路、施設など参加したほとんどの人が初めて見る所ばかり「村がこんなにまで発展を遂げていることには驚くばかりです」など過去の村の姿しか、ご存知なかった参加者のみなさんにとっては、現在の村の姿は、新鮮な感動として目に焼きついたのでした。

「ふるさと応援団」として村にいろいろな方面から支援を下さっている両村人会。今年はお盆となりました。



# 夏休み さまざまな 体験



新学期も始まって、二週間が過ぎました。夏休み中は、海や行楽地へと家族づれで行かれた方も多かったことと思います。この夏休みを利用して、せせらぎ荘の見学やボランティア体験を行った子どもたちがいいます。今月は、この子どもたちが、参加した「ボランティアスクール」(主催・社会福祉協議会)を追ってみました。

## 今、注目の 社協活動

現在、加茂郡内に、目の見えない人、耳の不自由な人、足の悪い人などいわゆる身体障害者の方が二千人近くいるといわれています。また、六十五歳以上の高齢者の方は、加茂郡内に約一万一千人、特に高齢者については私たちの村では、二十四%近い割合を占めています。

こうした本格的な高齢化社会の到来や地域での福祉問題が大きくクローズアップされている今日、次代を担う中学生たちに、ボランティア活動を理解してもらい参加してもらうようにと社会福祉協議会が、実施した「ボラ



ンティアスクール」。

参加したのは、中学生十八人。引率の田口等先生に話を伺ったところ「最初、この話を聞いた時には、これだけの人数の希望者があるかどうか心配していましたが、参加者全員が、自分から進んで希望を申し出たことは感心しました」との言葉どおり、学年も一年生から三年生まで参加があり、中には、将来福祉関係の仕事に就きたいと考えている子、また、今井和直さん(平

・中学一年生)のように男子で、たった一人でも参加している子などの姿を見て、今の中学生がいかに福祉に興味を持っているかが伝わってきました。



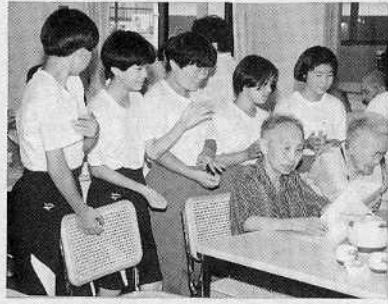
## 目の見えない人 足の不自由な人は大変

日程の第一日めは、午後から村民センターでの開講式の後、せせらぎ荘を訪問しました。施設の説明を受け、その日の利用者のお年寄りたちとの交流。ゲームやおやつをともし、話を聞く中で、お年寄りについて「寂しがつていることがわかった」「話し相手を欲しがっている」といったような感想を持ったようです。

お年寄りを送り出した後、参加者はアイマスクと車イス体験を行いました。アイマスクというのは、いわゆる目隠しのことで、目の不自由な人がどんな状

## ボランティア スクール日程

第一日  
(せせらぎ荘訪問)



(アイマスク体験)





井藤 則子 先生

手話歴9年。現在、美濃加茂市手話サークル「手輪」の会員として、手話指導や通訳に活躍。

態なのかを体験するものです。

二人一組となって交互に体験した子どもたち、もちろんこういう経験は初めてのこと。「目が見えない」ととても怖くて、手をつないでもらっても不安だった。「見た目は簡単そうな車イス。でも、一人で動かすとはちょっとした傾斜でも大変なのがあった」など感想もさまざま。

第一日めは、身体障害者やお年寄りの立場を考えることに重点を置いた研修でしたが、参加者の感想からも充分その目的を果たしたようです。

### 手話の成果は、

### あつたこと自己紹介

第二日めは、午前中約二時間の手話教室、美濃加茂市にお住まいの井藤則子先生の実技を交えた指導で、それぞれ自己紹介

や家族の紹介などをマスター。

全員が手話は初めてだそうですが、「この手話教室が楽しかった」という参加者もあり、上達ぶりも見事なもの。教室の終わりに、「それが大事」という曲を全員が手話で大合唱できるほどになりました。

手話教室を終えた中学生たち、「一度でいいからろうあ者と手話で話したい」「あいさつくらいなら自信ができた」など成果も上々でした。

### 私たちがつくる

### ボランティアを

二日間にわたって行われた「ボランティアスクール」の夏休み二日間を通して参加した中学生たちは、研修を終えた感想の中にも、自分たちでできるボランティア活動が何かを確実につかんだようです。

「身障者やお年寄りの気持ちをわかってあげること」「一人暮らしの人に手紙を書いたり、

## 小学生・中学生がせらぎ荘を訪問

ジュニアリーダーズクラブ

夏休みを利用した子どもたちのせせらぎ荘への見学、体験は、中学生ばかりでは、ありません。八月十九日には、小学五、六年生の福祉委員と希望者による二十一名が、二十日には、白川高校へ通うジュニアリーダーズクラブのメンバーのうち女子八名がせらぎ荘を訪問しました。

小学生たちは、利用者のお年寄りといっしょに、ジャンケンゲームを楽しんだり、昔の村のことや遊びなどの話を聞きました。最初は、恥ずか

しがっていた子どもたちもお年寄りが帰られるまでには、すっかりうちとけ「何かを話しかけると本当によれしように答えて下さった」といったような感想が出されるなど大いに意味のある体験となったようでした。

また、ちよつとおねえさんのジュニアリーダーズクラブのメンバーは、施設の見学だけでなく、職員とともに、お年寄りの相手からお風呂の手伝いまで同じ仕事を体験。寝たきりの方の入浴を手伝った子は「体を洗ってもらった時のお年寄りの方のう

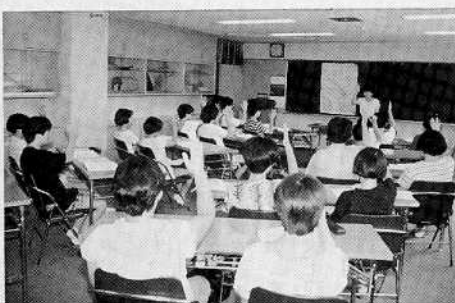
訪問ができれば…」、「目の見えない人に危険が迫ったら一声かける勇気が大切」「中学校でも手話を勉強して、会話をしたり、耳のとおいい人にも手話を教えてあげるような機会を作りたい」「同情するだけでなく身障者との交流できる場を…」。

「福祉の時代」といわれる現代。ボランティア活動は最も重要視されるものの一つです。次代を担う彼らにこの芽が育ち始めたことは頼もしい限りです。

小学生が楽しむジャンケンゲーム



(修了証交付)



(手話教室)



(車イス体験)

# 村の家計簿を公表

村の会計年度は、毎年四月一日から、翌年の三月三十一日までです。しかし三月末ですべての会計を締めきることではできないので五月末日までを整理期間とし決算をまとめます。

まとまった決算は、監査委員の審査を受け、九月の議会定例会で審議され承認を受けることになっています。

このほどまとめられた平成三年度総合決算は、右下の表のとおりですが、それぞれの会計について少しくわしく見たいと思います。

## 一般会計

決算額は歳入で二十七億五千九百万円余、歳出で二十六億四千百万円余となり、差し引き一億一千八百万円余を翌年度へ繰り越すこととなりました。これは前年度と比べると、歳入で三〇・八割、歳出で三二・二割の増となりました。

歳入で最も大きな割合を占め

るのが所得税、法人税、酒税などを財源に国が地方へ一定の基準で交付する地方交付税です。三年度は前年の十一・三割増の十一億九千四百万円余交付されました。

次に高い割合を占めるのは村債です。前年度より二〇・六・四割増の五億三千八百万円余を借り入れ、せせらぎ荘建設事業・こもれびの里整備事業、味の館建設事業などに充てられました。

皆さんから納めていただいた村税は、一億八千百万円余で歳入全体の六・六割、前年度比が四・三割の伸びとなりました。この村税を含めた「自主財源」は、次ページの円グラフのように、歳入全体の一九割だけであり、財政事情は相変わらず苦しいといわざるをおえませぬ。

## 歳入

歳入で最も大きな割合を占めるのは、総務費です。総務費には、庁舎建設基金・財政調整基金・土地開発基金などの基金

会計区分	歳入	歳出
一般会計	2,759,330	2,641,168
国民健康保険特別会計	280,421	239,759
分取造林費特別会計	1,296	1,296
老人保健特別会計	248,425	233,482
有線放送電話特別会計	28,836	25,959
病院事業会計	損勘	358,550
	益定本定	382,178
	助勘	11,480
	資勘	18,032
合計	3,688,338	3,541,874

平成三年度決算状況(単位:千円)

積立、こもれびの里整備事業、職員の人件費などが含まれます。

次いで、農林水産業費が六億二百万円余で全体の二二・八割を占めており、この中には味の館建設事業、県営畑総事業負担金、農村総合整備モデル事業、林道開設事業(三路線)などがあります。

前年度に比べ、二六一・一割増と著しい伸びを見せたのは、民生費です。これは、例年通りの福祉事業に加え、せせらぎ荘伝承の館建設があったためです。村の借入金償還金である公債費は、二億四千七百万円余で全体の九・三割を占め、前年度より四割の伸びとなりました。

土木費は、一億七千九百万円

# おしらせ

## 台風に備えて

毎年、台風は平均二十七個ぐ

らい発生し、そのうち上陸するのは二〜三個ですが、昨年は、

発生数及び上陸数こそ平年並であ

ったものの本土への接近数は九個であり、ここ数年来、増え続けています。

こうした台風の被害を最小限にとどめるには、みなさん一人

一人の心構えが大切です。台風

風に備えて、あらかじめ次のことに注意しましょう。

●河川やがけの位置、地質、地盤などの特性を知り、どんな

災害が起こりやすいか把握する。

●懐中電灯、トランジスタラジオ、非常用食料、飲料水などの準備をする。

●避難場所の確認とその避難路について安全な経路を確認しておく。

●ラジオ・テレビなどの気象

情報に十分注意する。

これらのことに注意して、災害に対処できる態勢づくりをしておきましょう。

## 岐阜県最低賃金

### 改正されます

岐阜県労働基準局では、県内で働くすべての労働者に適用される「岐阜県最低賃金」を十月一日から次のように改正します。

日額四、五五九円(改正前四、

三五四円) 時間額五七〇円(改正前五四七円)です。

この最低賃金は、臨時・パートタイマー・アルバイトなど雇用形態に関係なく適用されます

が、対象となる賃金には、時間外、ボーナスなどの手当では含まれません。

## 赤い羽根共同募金

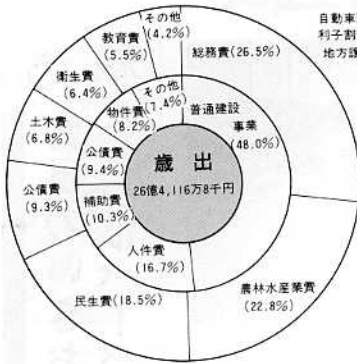
### に協力をお願いします

赤い羽根共同募金運動は、民間社会福祉事業に必要な資金を

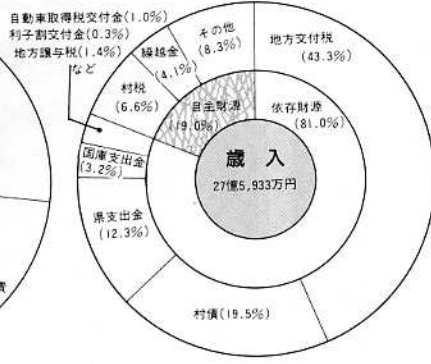




一般会計歳出の内訳



一般会計歳入の内訳



余で、道路橋梁維持費、新設改良費、住宅建設費などが挙げられます。  
 以下、衛生費が一億六千九百万円余、教育費が一億四千四百万円余、その他消防費等で一億一千百万円余となりました。  
 全体の伸びが示すように平成三年度は、私たちの夢実現に向けての大きな飛躍の年と呼べるのではないのでしょうか。

特別会計

村民1人当たりの村税負担額は、52,707円  
 (平成3年度決算)



は、一般会計とは別に  
 計とは別に  
 特定事業など、別の経理をもつて行うものです。  
 (国民健康保険特別会計) 農業や自営業の人の医療費の支給を行うこの会計は、歳入が二億八千万円余、歳出が二億三千九百万円余となりました。前年度からの繰越金を差し引いた単年度収支は、二千万円余の赤字となりましたが、これは、基金積立を行ったためです。  
 (分収造林費特別会計) 分収造林は、村が契約によって民有林に造林を行い、伐採時に一定の比率で利益を分配しているもので、現在村内に五か所三十七畝を設定。保育に要する経費はこの特別会計で経理されます。  
 三年度の事業費は、水源の森地ごしらえ委託料で、財源は、一般会計からの繰入金で賄われ

は、一般会計とは別に  
 計とは別に  
 特定事業など、別の経理をもつて行うものです。  
 (国民健康保険特別会計) 農業や自営業の人の医療費の支給を行うこの会計は、歳入が二億八千万円余、歳出が二億三千九百万円余となりました。前年度からの繰越金を差し引いた単年度収支は、二千万円余の赤字となりましたが、これは、基金積立を行ったためです。  
 (分収造林費特別会計) 分収造林は、村が契約によって民有林に造林を行い、伐採時に一定の比率で利益を分配しているもので、現在村内に五か所三十七畝を設定。保育に要する経費はこの特別会計で経理されます。  
 三年度の事業費は、水源の森地ごしらえ委託料で、財源は、一般会計からの繰入金で賄われ

また、  
 (老人保健特別会計) 七十歳以上と六十五歳以上の寝たきりのお年寄りの医療費を取り扱うこの会計は、前年度と比べ歳出で二・三割の伸びとなりましたが、歳入・歳出差し引きで一千四百万円余の剰余金が出ました。  
 (有線放送特別会計) 線路の保守、道路改良工事に伴う線路の移転、本部の配線盤設備などの工事を行い、二百八十万円余を繰り越しました。  
 (病院事業会計) 常勤医師四名を中心に疾病治療、保健指導、成人病管理検診、児童生徒、園児の健康管理に努め事業収支は、一般会計から七千五百万円繰り入れたものの二千三百万円余の欠損となりまた、資本的収支の不足分六百五十五万二千円は過年度損益勘定留保資金で補われました。

\* 税負担額は、平成4年3月31日末人口で単純に割ったものです。従って法人関係分も含まれています。

図書コーナー

and other stories



村上 春樹 他訳  
 アメリカの短編小説ばかりを集めた本でした。日本人の私にとって少し理解できない所もありましたが、一度は読んでみても良いアメリカンドリームです。  
 推薦人 (25歳 女)

読むクスリ

小さな笑い話、感心する話がたくさんありました。普通は見落としてしまうような事がたくさん書いてあり、読み終わった後で気持ちがホッとする感じでした。ストレス解消にどうぞ。  
 推薦人 (45歳 男)

上前 淳一郎 著



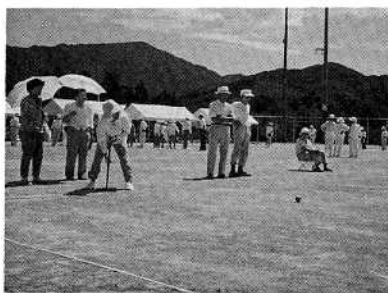
「東白川十景」の  
 写真を募集します  
 私たちが日ごろなにげなく見ている村の景色……。都会に住む人から見れば、おそらく新鮮な風景としてうつることでしょう。  
 「自然の恵みに乾杯！」というテーマのもと聞かれる今年の

集めるための国民たすけあい運動です。今年も十月一日から十二月三十一日までの三ヶ月間にわたって全国で転開されます。赤い羽根は、組長さんを通じて各戸に配付しますので、あなたの善意をぜひ赤い羽根に託して下さい。  
 ● 応募点数／一人五作品まで。  
 ● 応募用紙／希望を受け本人に送付します。  
 ● 応募方法／応募用紙に記入事項明記のうえ、写真(サービ版)とネガを添えて応募する。  
 ● テーマ／「松の美林」「秋の紅葉」「白川茶園」「清流白川」その他(滝・庭など)  
 ※申込みは、役場総務課まで

産業祭において「東白川の十景」を決定することとなりました。そこで、「これが東白川だ」と広く村内外で紹介できるように村の姿の写真を募集します。  
 ● 受付期間／十月一日～十一月十一日まで。  
 ● 応募点数／一人五作品まで。  
 ● 応募用紙／希望を受け本人に送付します。

## 競う

### 台風のいきおいもどこへやら シルバーパワー爆発



広いグラウンドでのびのびプレー

八月二十日、第十三回加茂郡老人クラブ連合会ゲートボール大会が、七町村から二十四チーム、約二百人の選手の参加のもと開催されました。

大会前日から台風十一号の影響で開催が危ぶまれていましたが、お年寄たちのパワーに驚いたか当日は、汗ばむほどの晴天。村からは二チームが参加。福寿会チームが四位となりました。

## 歩く

### 白川の源流訪ねた 健康ウォーク



和合の滝でハイ、チーズノ

恒例になっている五加ウォーキングクラブの「健康ウォーク」。白川の源流を訪ね、七月二十八日小秀山登山となりました。

参加者は、最年長八十五歳の桂川政一さん(日向)を筆頭に、最年少の小学三年生稲垣靖さん(陰地)まで十三人。

コースには、胸突き八丁とも呼べるような難所もありましたが、全員元気に下山。今後は月一回のハイキングを計画中だとか。

## 咲く

### 鮮やかに水面を飾る ホテイアオイ



カラーでお見せできず、残念

栗本康夫さん(平)宅のホテイアオイが鮮やかな花をつけました。

このホテイアオイ、よく池などで見かけますが、池ではコイなどが根を食べてしまい花は咲きにくいとのこと。栗本さんも数年前に金魚といっしょに購入してから繁殖して数だけはかなり増えたそうですが、花が咲いたのはこれが初めてだそうです。鮮やかな紫色の花の一枚の花びらだけに黄色の模様があるなんとも神秘的な花です。

## 輝く

### みなさんとともに歩んだ 広報紙大きく評価されました

社団法人日本広報協会が毎年行っている全国広報コンクール広報紙部門で長寿村を特集した昨年の九月号が入選八席を受賞



しました。このコンクールは、各都道府県で先立って実施される広報コンクールの特選作品が出品されるもの。こうした高い評価を得ることができたのも取材に協力していただいた方々や温かく見守って下さった村民の皆さんのおかげと深く感謝するとともに、今後も、みなさんに親しんでいただける広報紙づくりに一層専念したいと思えます。

■戸籍の窓―敬称略(八月)



誕生おめでとう  
ございます

(中通) 安江 元樹 勇樹 (長男)



いつまでも  
おしあわせに

(い) 澤崎 太 (郡上郡白鳥町) 村雲 弘枝 (西洞)



おくやみ  
申しあげます

田口 鋭雄 83歳(中谷) 安江 丹次 81歳(陰地)

■善意の寄付―敬称略

〔社会福祉施設整備指定寄付金〕

現金三万円―東白川中京村人

現金三万円―東白川中京村人

現金三万円―東白川中京村人

現金三万円―東白川中京村人

現金三万円―東白川中京村人

現金三万円―東白川中京村人

現金三万円―東白川中京村人

現金三万円―東白川中京村人

## 育つ

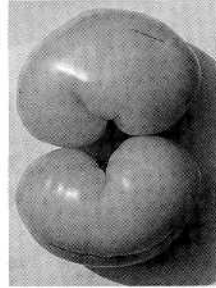
### 夏恒例！ 珍品野菜続々入荷

この時期になると毎年必ず広報の紙面を飾ってくれる珍野菜たち。今年も役場へ左の二点が届けられました。



今井秀夫さん(平)作

写真上は、置物ではありません



安江佐さん(曲坂)作  
ウリ二つで  
さはなく、ト  
マト二つで  
安すね。

写真下、きんさんきんさんの人気にあやかった双子のトマト。見事、芸術的に育ったジャガイモ君。見ようによっては、耳があつて犬にも見えます……。

## 守る

### 原生林を後世に 郷土の森整備完了

今年一月、県道越原付知線の峠近くにある国有林の原生林を



案内看板を設置

「郷土の森」として守り、残すため営林署との間に分取契約が交わされましたが、このほど樹名板、案内板、ベンチの設置や遊歩道の整備が行われました。樹齢百五十年を誇る樹木が生い茂るこの原生林は、村内でもほかでは見られません。また、三・一九畝の面積に五十三種と樹種も豊富。今後は学習の場、憩いの場としての活用が期待されます。

## 試す

### 自然の中で真価を發揮 ボーイスカウト来村

テーマは、「挑戦」。八月十三日から四日間、ボーイスカウト御嵩第一団が来村。平の中心でキャンプを行いました。



昼食は特製流しそうめん

参加したのは、小学校六年生から中学生までのボーイ隊十二人と小学校三年生以上のカプ隊七人。「自分たちで何でもやってみることが目標」と代表の大山好武さんは語ってくれましたが、かまど作りから食器に至るまで全て手作り。日ごろ環境整備など奉仕活動を行いながら、訓練をした成果が試みされるキャンプです。

## 破る

### もしかして川の主!! けた違いの大アマゴ

上の写真は荒巻きサケを測っているではありません。長さ四十二センチ、重さ七百六十五グラム。



産業祭でハク製展示の予定です

正真正銘清流の女王アマゴです。今までのアマゴのギネス公式記録(三十九センチ・七百グラム)を大きく破ったこのおぼけアマゴを捕ったのは、陰地の鳴倉玄治さん。場所は越原神社前あたりとか。「川ゴイかと思つてヤスで突いたら、アマゴだったので驚いたのなんの……」とその時の状況を熱っぽく語ってくれました。

- 指定寄付金
  - 現金六十万円 島崎電気
  - 【消防施設指定寄付金】
  - 現金二十万円 安江廣文(大明神)
  - 【社会福祉協議会へ】
  - 現金十万円 安江誠(日向)
  - 現金二十万円 田口芳宏(中谷)
  - 現金二十万円 安江明夫(陰地)
  - 現金二千七百四十円 匿名
  - 現金七万二千元 山田土建(株)
  - 従業員一同、チャリティーバザー売上金
  - 現金千九百七十円 昭和五十年 度東白川中学校卒業生一同
  - 夏まつりバザー売上金
  - 現金二万三千六十円 平商業会一同、92平商工フェスタチャリティーオークション売上金
  - 現金五千円 夏まつりバザーとうもろこしの店一同
- 工事入札の結果
  - ①は入札期日②は落札金額
  - および落札業者
  - ▼旧越原上校舎舗装工事
  - ①八月二十四日②百四十四万二千元、(有)立保土木
  - ▼農業用水対策第一期工事
  - ①八月二十四日②六百三十八万六千元、(有)立保土木



▲桂川真希ちゃん（光弘さん・裕見子さん長女一日向）



◀島倉由起子ちゃん  
（宏之さん・美喜子さん二女＝平）



# ふれあい広場

## 新婚さん♡

■ワン・ショット■

月から四月にかけて、年間結婚数の約半数の十組がゴールデンしており、夏場にかけて結婚する人たちがいない時期でも広報紙で紹介ができたわけですが、今年、どうしたのか、この三月から八月までの間に村内での結婚者数がわずかに三組。六月からの三か月間に至っては、ゼロというのが現状です。

一般的な慣習として夏の暑い時期に結婚式は少ないものですが、今年はその巡りが悪いのか、

残念なことには三か月連続して村に新婚カップルが、誕生しませんでした。

ここ数年で最も少ない年です。ようやく残暑の厳しかった夏も終わり、心地よい秋風の吹く時期。結婚式のシーズンを迎えました。この秋にたくさんのカップルが誕生することを願うばかりですが、その秋に向けて、社会福祉協議会では、八月二十九日に佐見川峡キャンプ場において、若者たちの出会いの場、青年フォーラムのサマーキャンプを実施しました。

この会は、白川町社会福祉協議会と合同で行うもので、今年五十八人が参加。村からも男十三人女五人が参加。「もっと時間が欲しかった」「内輪で集まっちゃって」など参加者の感想はさまざまだったようですが、ゲームやバーベキューなどで盛り上がりのある会になりました。



自己紹介もゲーム形式で...

## ふるさと生活史

⑥

### ▽薬 縄△

先月に続いて稲の文化「薬細工」について考えてみると、その基本は「縄」にあると言えそうです。

縄は繊維を撚り合せて作るのですが、その繊維材料が現代は化学繊維、昔は稲藁というわけです。

すべ縄百貫という言葉がこの地方に伝わっていますが、稲藁でなった縄は弱いように見えても百貫（三七五匁）の重量にも耐えるという意味です。

これに対する化学繊維縄の強度。映画化もされた有名な小説「氷壁」は、新しく作られたナイロン製のザイルを使って岩を登っていた登山家が、鋭い岩角の摩擦熱に耐え切れず墜落した謎を、同僚を見殺しにしたと疑われたもう一人の登山家がさまざまな迫害の中で解き明して行くという内容で、強いと思われ化学繊維の意外なもろさを見



事に暴いてベストセラーになりました。

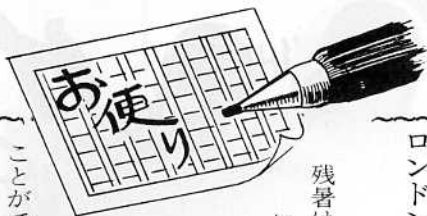
薬細工のお世話になる季節は秋刈り取った稲を架けるはざを結うのは縄、よほどしっかりと結っておかないと少しの風にもすぐ倒れてしまう。

それならば縄をたくさん使えばどうだ……とぐるぐる巻きにしてもやっぱり倒れる。

上手は二巻き三巻きのむだの無い長さできっちり仕上げ、台風にも耐えたものでした。

その縄をなうのは、たいていは夕なべ（夜なべ）。土間に置かれた丸い藁打石の上で、トン・トン。すっかり腕がくたびれていいかげんの所で切り上げると出来上った縄に毛がいつぱい生えてむかで縄ができました。

けっして主役ではない薬細工は、藁細工というひとつの文化の、やっぱり「基本」なのです。



ロンドンに咲いた菜の花

田口 愛子

残暑はまだまだ厳しく、ございますが、夜ごと草薙にすだく虫の音は秋のブローグと言えましょうか。

おかげさまで十七回秋季院展、七度目の入選を果す

ことができました。これも郷里の皆様のご声援あっての頑張りでございます。

さて昨日（八月二十八日）



▲永瀬李奈ちゃん  
(英登さん・功美さん長女＝平)



このたびは先生ご揮毫の日本画をご購入させて頂き深く感謝申し上げます。

御作品は在英國日本国大使館レセプションホールに掲示し

外務省より礼状と写真が届けられました。が、古里の皆様と共に居たあの「陽春」が、ロンドン日本大使館の立派なレセプションホールに掲げられており夢のようにございます。実に幸運な作品であると存じます。

只々嬉しく村長様、村民の皆様へ改めて厚く御礼申しあげます。

（岐阜市在住日本美術院院友）



写真は新装のロンドン日本大使館レセプションホールに飾られシャンデリアに輝く田口愛子さんの大作「陽春」

日本画紹介に利用させて頂きことと致しました。この機会に先生の益々の御活躍と御発展を祈念致します。茲に今回のご芳志に対し厚く御礼申しあげます。  
平成四年八月二十五日  
外務省在外公館課長 安藤裕康  
田口愛子先生

元気です！  
働くお年より  
育林

「自転車は、杖がわりのようなもんです」と語って下さったのは、今年米寿を祝う今井時郎さん（平）

時郎さんは、腕ききの大工として約六十年活躍されましたが、七十二歳で現役を引退、現在は一つ違いの奥さんたねさんと中谷にある山の育林が、趣味を兼ねたお仕事です。

大工を辞めてからも道具の手入れだけは欠かしたことがないという時郎さん、「大工仕事で一番大きかったのは、今の中学の校舎の仕事やね。大工ではほうぼうへ行かせてもらったけど、どこへ行くにも自転車。大工を辞めた今でも中谷へ行くときにや自転車で行っています。家のもんは、危ないからおけといいますが、中谷から西洞を通っての帰り道は、道はええし、下りでスイスイ来れるから、それが楽しんで行っているようなもん

です」とまるで自転車を運転するかのような身ぶり手ぶりを交えながら楽しそうに話して下さいました。中谷には、畑もあるそうで、そこで野菜を作ること、は奥さんたねさんの楽しみ。最近は行くことがめっきり

少なくなつたとのことですが、昔から、たねさんは、中谷までの約四、五の道のりを歩いて通っています。お二人が今まで通う間には、いろいろな思い出が残っているようですが、中でも村で今のようなツチノコブームの先駆けとなつたツチノコ目撃談は、有名な話。（昭和六十三年広報三月号に掲載）



ご愛用の自転車で今日も元気に...

# わたしの作品

▲「おし花」東白川小学校  
4年生 今井里美さん (大沢)

▲「ダンボール画」  
東白川小学校3年生  
安江あゆみさん(平)

▲「プールあそび」  
越原保育園  
やすえりえちゃん(大明神)

▲「いす」  
東白川小学校  
2年生  
安江勇樹さん  
(栃山)

▲「ピンポン玉で作った働く人」  
東白川小学校2年生 田口智也さん(平)

▲「プールあそび」越原保育園  
やすえまゆみちゃん(曲坂)

## ● 短歌

## 広報文芸

暗号を示し合わせて征ちゆけり今となりては甲斐なき遊び 浦和 桂川 熊吉  
あじさいの色失せしきま過ぎし日日老いゆく我の姿にも似て名古屋村雲 さと  
改革は棚に預けてPKOに燃える真夏日連呼が熱い 安江 香  
● 脳硬塞の友を見舞いて帰る道夫は次第に無口となりぬ 安江 幸  
穫らむ日を楽しみて待つ菜園のトマトを鴉は今朝も盗りゆく 今井 かな  
啼き交す日暮しの声しきりなり昼の暑さもやに遠のく 安江 龍玉  
● 芥子粒程の童播かむと掴みしが汗ばむ指より離れがたしよ 安江 澄  
● 一分間映像止まりぬ球場も茶の間も静かに黙折捧ぐ 三戸 きり  
夏山に登れば長けし草を刈るモンペ姿の母目に浮ぶ 田口 一枝  
妹と電話で近況語り合い故郷の訛をなつかしく聞く 安江 節子  
清流に枝差しのべて咲く合歡のほの紅き花皆空にむく 安江と志江  
駅に合ふ女の面の険しさよ何程の理由心に持つや 小池 弘子  
暑き日日仕事と思ひ鱗を焼く七ツのコンロ火の消えるなし 早瀬 久子  
君がためと命惜まず旅だつた凜凜しき姿に幼さ残る 若井のぶえ  
思い出の伊東に集うクラス会夜の海水浴場ネオンかがやく 安江 守平  
花も葉も去年は豊かに茂りたる朝顔今年はなぜか貧弱 安江すみよ  
手に汲みつ谷間の苔清水笹舟浮かし想う一とき 安江 順子  
スタスタと過ぎゆく人を目で追いてホームに還る足痛き吾は 安江とくよ  
足元を尾のないとかげちろちろし大熟睡す炎暑の庭 安江 富枝  
照り返す夏陽をさけて山裾で草刈りすれど汗の滴る 菊田 清美  
穂をほらむ田に水を張りてひなすらに災禍無き事しばし念する 安江 乙村  
雨窓う日々夕映えの空仰ぎつつ野菜に水まく老二人して 伊藤 美枝  
去年迄は無帽で通せし吾なれど折れて麦わら白頭にいただく 伊藤 重雄

あなたの作品をお寄せくださいー初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します●偶数月の二十日までに神土伊藤重雄宛に出して下さい。

## こぼれ話



役場の南に四つ割の南無阿弥陀仏碑がある。村民が一番よく通る道すがらに位置する東白川村指定史跡第一号である。

▼かつて常楽寺山門わきに建立され、廃仏毀釈によりいったんは取り払われたものも一度今の場所に再建された。建立されたからちようど百年後。どちらも飢饉や悪疫を取り払う願いが村民にそうさせている。私は、この百年という数字にこだわる。「歴史はまわる」という言葉があるが、一世紀はまさに一周期であろうか。▼ところでこの石碑は縦に割られている。なぜだろう。そしてこれももし横に割られていたらどうだろう。これも気になる。でも、縦に割ったからこそ再建できたのではないかとこのごろ思うようになった。

▼石碑がまた別の目で見られるような気がする。史跡のもらすつぶやきは、ただ通り過ぎるだけでは聞こえてこない。やはり立ち止まってやらねば...